

目指す教員像

本学の教職課程は、各学部、学科の目指す人材育成項目に加えて、教職への熱意を持ち、教育理論や現実の問題を常に学び、それらを創造的に具体化しながら、生徒に対して愛情を持って実践指導できる教員を育成することを目的とする。

教職課程のディプロマポリシー

- Dp1 教員として働くことの意義を理解し、教職への熱意と責任を持っている。(態度志向性)
- Dp2 教職に関する基礎知識を有し、教科教育に対する専門知識と技能を持ち、時代の進展に対応した適応力を備え、様々な教育機器や教育手法を活用することができる。(知識理解)
- Dp3 実践から学び、自己の学習課題を明確にして、理論と実践を往還し、それらを創造的に結びつけた指導ができる。(創造的实践力・実践的学習力)
- Dp4 個々の生徒に対する理解と、望ましい集団活動に対応できる理解力、行動力、指導力を身に付けている。(汎用的技能)
- Dp5 教員としての愛情を持って生徒に接することができるとともに、社会人としての確かな見識を持ち、多世代との好ましい人間関係を築くことができる。(態度志向性)

教職科目のカリキュラムポリシー

- Cp1 人に対する理解を深め、愛情を持って接する態度や、理想の教育を追究する熱意を育む態度を身に付ける。(態度志向性)
- Cp2 教師として必要な一般知識に加え、生徒を指導するための十分な専門知識と技能を併せ持ち、アクティブ・ラーニングや ICT 活用等による時代のニーズに応える学習ができる能力を習得する。(知識理解)
- Cp3 自ら教育的課題を的確に把握し、それらを主体的に学び、発表や対話を通じて、課題を解決する能力を身に付ける。(創造的实践力・実践的学習力)
- Cp4 学習のみならず、様々な角度から 1 人 1 人の生徒を掌握し、社会や集団の中でイニシアチブを取りながら活動できる力を育てる。(汎用的技能)
- Cp5 教育者としての使命感や責任感、総合的人間力、共生力を養い、多様な生徒に対する理解を深め、愛情を持って生徒に接する事ができる指導力、コミュニケーション能力を身に付ける。(態度志向性)